

薬事委員会記録

日 時：平成 30 年 12 月 6 日(木) 16 時 00 分

場 所：医学部 1 階 小会議室

出席者：鈴木、川崎、吉倉、池田、村瀬、早崎、田中、川瀬、西堀、加納、加藤(卓)、中島(美)、加藤(博)、長瀬、吉田(学)、紀ノ定、荒木、吉田(省)、馬場、大野、境、酒々井、安田(浩)、小森、小林、山内

代理出席者：荒木〔一内〕、加藤〔三内〕、棚橋〔放射線部〕

委任状提出：田辺、白上、山口

欠席者：山口(和)、江頭、堀、中島(教)、北川、堀川、二村、笹井、塚田、佐野

記録の承認

平成 30 年 9 月 6 日開催の薬事委員会の記録を承認した。

協議事項

1. 医薬品の採用について

6 品目（シグマート注 2mg、シュアポスト錠 0.5mg、献血ヴェノグロブリン IH10% 静注 5g/50mL・同 20g/200mL、ゴナールエフ皮下注用 75、ピノルビン注射用 30mg）の採用を承認した。

2. 医薬品の継続試用について

8 品目（アルプロスタジル注 5μg「武田テバ」、パルモディア錠 0.1mg、ナルベイン注 2mg・同 20mg、シベクトロ点滴静注用 200mg、ゾフルーザ錠 10mg・同 20mg、トリビック）の継続試用を承認した。

3. 医薬品の新規試用について

8 品目（グーフイス錠 5mg、エフィエント錠 3.75mg・同 OD 錠 20mg、エイベリス点眼液 0.002%、ビプレッソ徐放錠 50mg、ツムラ半夏厚朴湯エキス顆粒、モビコール配合内用剤、アノーロエリプタ 30 吸入用）について、申請診療科および薬剤部より説明され、新規試用の承認可否の投票を実施した結果、全て承認された。

4. 医薬品の製剤変更について

ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL「マルイシ」について、申請診療科および薬剤部より説明され、製剤変更の承認可否の投票を実施した結果、承認された。

5. 医薬品の採用中止について

8 品目（アシテアダニ舌下錠 100 単位(IR)、ネオキシテープ 73.5mg、ベストロン耳鼻科 1%、アトワゴリバース静注シリンジ、アナフラニール点滴静注液 25mg、ドプラム注射液 400mg、ベクロニウム静注用 10mg「F」、リスモダン P 静注 50mg）の採用中止を承認した。ベクロニウム静注用 10mg「F」については、ロクロニウム臭化物静注液 50mg/5.0mL「マルイシ」との名称類似が指摘され中止となったが、緊急購入医薬品として使用を継続することとした。

報告事項

1. 院外採用医薬品に関する薬事委員会 WG での決定事項

①医薬品の院外採用について

21 品目（アディノベイト静注用キット 2000、デュオドーパ配合経腸用液、オルミエント錠 2mg、ミティキュアダニ舌下錠 3,300JAU・同 10,000JAU、ベンリスタ皮下注 200mg オートインジェクター、ベージニオ錠 50mg・同 100mg・同 150mg、ケブザラ皮下注 150mg・200mg

シリンジ・同オートインジェクター、シムジア皮下注 200mg オートクリックス、ジェミーナ配合錠、クラシエ人参養栄湯エキス細粒、クラシエ半夏白朮天麻湯エキス細粒、ツムラ柴胡清肝湯エキス顆粒、ネイリンカプセル 100mg、ヒルドイドフォーム 0.3%、ゴナールエフ皮下注ペン 300) の院外採用を報告した。

②医薬品の院外採用中止について

9 品目 (アラバ錠 20mg、ジフルカンカプセル 50mg、ジフルカンドライシロップ 1400mg、ツムラ茵陳五苓散エキス顆粒、ツムラ調胃承気湯エキス顆粒、ツムラ通導散エキス顆粒、ツムラ茯苓飲エキス顆粒、ヘパリン類似物質外用泡状スプレー0.3%「日本臓器」、アディノベイト静注用 2000) の院外採用中止を報告した。

③緊急購入医薬品の登録について

17 品目 (ベムリディ錠 25mg、ガザイバ点滴静注 1000mg、ファイバ静注用 1000、ジカディアカプセル 150mg、ローブレナ錠 100mg、ヌーカラ皮下注用 100mg、エンブレル皮下注 50mg ペン 1.0mL、ベンリスタ皮下注 200mg オートインジェクター、エフェドリン「ナガキ」錠 25mg、テクフィデラカプセル 240mg、レグナイト錠 300mg、1%プロポフォル注「マルイシ」 100mL、ヘルニコア椎間板注用 1.25 単位、ツムラ辛夷清肺湯エキス顆粒、レキサルティ錠 1mg、ビーシックス注「フソー」-30mg、エンタイビオ点滴静注用 300mg) の緊急購入の登録を報告した。

2. 医薬品の販売中止について

6 品目 (インテバン SP25、ジメンシー配合錠、スローケー錠 600mg、ラシックス細粒 4%、アクリノール 0.1%液「ヨシダ」、コージネイト FS バイオセット注 2000) の販売中止を報告した。

3. 製剤変更について

エネマスター注腸散への製剤変更を報告した。

4. 再生医療等製品について

テムセル HS 注の輸血部での運用を報告した。

フォーミュラリーの導入について

医薬品購入額削減と経営改善を目的として、当院でもフォーミュラリーの運用を開始することとした。開始にあたり、消化器内科領域におけるインフリキシマブ製剤のバイオ後続品への切り替えの経済効果について説明した上で、クローン病・潰瘍性大腸炎に対してバイオ後続品を院内の推奨薬とすることの承認を得た。

次回薬事委員会の開催日時は、平成 31 年 3 月 7 日(木)とした。